



福岡県動物愛護推進員ニュース

福岡県動物愛護推進協議会 <http://www.fukuoka-douai.jp/>

絆

23

人と動物が共生できる社会づくりのため地域に密着した動物愛護の普及啓発活動ニュース

人と動物の共生と福祉を目指して

動物愛護教室 実施報告

Web版にも
他 支部 掲載

京築 支部

愛犬・愛猫に必ず訪れる「老い」について、どのような対策が必要か、また、どのような心構えが必要かを学んでもらうため、老犬・老猫との暮らし方教室を開催しました。

座学では「老い」により起こりうる病気や異常行動などについて説明し、これらを飼い主ひとりで抱え込まないことの重要性をお伝えしました。

また、動物愛護推進員の方々に猫の爪切りや給餌、老犬へのオムツの装着等をモデル犬猫を用いて実演いただきました。

参加者からは「実演を見て勉強になった」「病気、介護等への話が聞けて良かった」との声もいただき、意義のある教室になったと感じております。

本事業は継続して行っていく予定なのでご興味のある方のご参加をお待ちしています。

日時 令和6年12月13日

場所 京築保健福祉環境事務所 会議室

講演 老犬・老猫との暮らし方教室



猫への給餌
(右手にシリンジを持ち、左手で猫を支える)



給餌の際の猫の様子



猫の爪切り
(一人が補助、一人が爪切り実施)



受講者の猫の爪切り体験



犬がお尻を向けた状態で座らせる



犬へのオムツ装着

犬との暮らしにおける日頃の備え

普段からやっておきたいことチェックリスト

以下は愛犬がいつでもどこでもできるように日頃から習慣にしておきたいことの最低限のリストです。できることにチェックマークを入れられなかった項目がある場合は、いざという時に出来るだけスムーズに且つストレスが少なくできるように平時のうちに愛犬と練習しておきましょう。

- ☐ いつでもどこでも食べる＆飲むことができる
- ☐ いろんなタイプの知育トイを使い慣れておく ※
- ☐ クレートに入ってリラックスできる
- ☐ ひとりで寝ることができる
- ☐ トイレシートで排泄ができる
- ☐ 屋外で排泄ができる
- ☐ 身体を清潔に保つためのお手入れを受け入れることができる
- ☐ 車の中でクレートに入ってられる
- ☐ マナーパンツやマナーベルトの装着ができる
- ☐ 飼い主以外の人の世話を安心して受け入れることができる

※ 知育トイについては絆「第22号」をご覧ください



クレートのすゐめ

クレートを使うことには以下のようなメリットがあります。

1. 安心安全な休息場所として

落ち着ける安全地帯があることは犬ばかりでなく人のストレス軽減にも繋がる。
(多頭飼育の場合はそれぞれの犬にクレートを用意する)

2. いたずらや事故防止のために

掃除や来客時など戯れられると困る時や犬から目を離す際に誤飲などの事故予防のためにクレートにいてもらうことでお互いに安全に過ごしやすい。

3. 排泄成功の助けとして

犬は本能的に休息場所で排泄をしないため、排泄タイミングの少し前に短時間クレートにいてもらうことでその後の排泄を促しやすい。

4. 安全な乗車のための必須ツール

車内で犬がうろうろすることや運転手の膝の上にさせるのは危険。安全のために犬には固定したクレートに入ってもらう。扉や窓を開けた時の犬のとび出しを防ぐことにも繋がる。

5. 非日常時の犬の一時的な居場所となる

旅行先などで必要に応じて使い慣れたクレートを使用できるとお互いが快適に過ごすことができる。クレートを使うことに慣れていることで災害などの緊急時でも犬に安心を提供しやすい。

そもそもクレートって何？

犬の居場所管理の道具は、クレートの他、ケージやサークルなどがあります。それぞれの違いを簡単におさらいしてみましょう。

●クレート

プラスチックでできているものが多く、上下に分割ができるものや折りたためるものがある。大きくなると重量が増すが、頑丈。安全性は高い。飛行機対応のものもある。扉のほかに上部に蓋があるものもある。側面にはスリット窓がある。



●ケージ

金属製ネットの小さな檻のイメージ。折りたたみができる。頑丈で重量がある。犬が外から丸見えになるので、寒さや日差し、周りの視線から犬を守るためにカバーをかけるなどの対応が必要になることがある。床面が網のもの場合はマットなどを敷き犬が足や爪を痛めないようにする。



●ソフトクレート

布製で軽く折り畳みができるので携帯に便利だが、トレーニングが不十分な犬の場合は内側からファスナー部分を壊したり側面を破ったりすることがあるので、すでにクレートを使い慣れている場合にのみ使用を勧められる。犬が中で動いてもクレート自体が動かない骨組みがしっかりとしたものを選ぶこと。メッシュ部分もあるが通気性は良くないので夏場は注意が必要。



●サークル

素材は金属、プラスチック、木材など様々。天井がない囲い。休む場所、遊ぶ場所、排泄場所などを囲って管理するために使うことができる。1面ずつを繋げることで必要な広さを確保できる。携帯用の折りたたみ式のものもある。市販のもの他、手作りする方もいる。犬に合わせた高さが必要。



クレートの大きさの選び方

犬がクレートの中で立ち上がりたり伏せたり向きを変えることができる広さがあること。車で使う場合は揺れても犬が安定するびったりなサイズがおすすめ。

クレートトレーニング

飼い主の合図で犬自らがクレートに入り、扉を閉められて人が離れても犬はリラックスしてそこにいられるようにするための練習をクレートトレーニングといいます。

※ Web版に詳しいトレーニング方法の解説と動画を掲載！！

動画内での合図は各家庭により違いますのでご了承ください。



絆23号の情報はHPにて
更に詳しく掲載してるよ。

動画もあるよ！
みてね！



なるほど～
そうやるのか。

人と動物の間を行き来することができる 病気があることを知っていますか。 ～人獣共通感染症～

人獣共通感染症について

「人と動物の間を行き来することができる感染症(病原体＝病気を起こす小さな生物＝が体に侵入して症状がでる病気)」のこと。

人と動物双方に感染する共通感染症で人の感染症の約60%を占める。

原因となる病原体は細菌・ウイルスのほか、真菌、寄生虫など多数存在します。

人獣共通感染症は どうやってうつるの？

病原体をもった動物に…

咬まれる 引っかかる 口の周りや傷口をなめられる 咳やくしゃみを直接受ける など

その他にも…

動物にさわってフンなどで汚れた手を口にもっていってしまう ダニや蚊を媒介してうつる など

感染症をむやみに怖がる必要はありません!でもお互いを守ることも大切です。

お互いの 守り方

- ・過剰なふれあいはひかえましょう。
(口移しやキスはしない、食器や箸と一緒に使わない、など)
- ・排泄物は早く処理しましょう。
- ・掃除や換気はこまめにしましょう。
- ・爪切りやブラッシングなどお手入れをしましょう。
(そのためには普段からのしつけも大切)
- ・動物も人も、様子が変だな…とおもったら早めに医療機関を受診しましょう。
- ・飼い主のわからない動物は触らないようにしましょう。
- ・砂場や公園で遊んだり、草むしりや土いじりをした後は、十分に手を洗いましょう。

こんな病気が あります

- ・狂犬病
- ・パストレラ症
- ・猫ひっかき病
- ・皮膚糸状菌症 など

こんな症状がでます

- 病気の原因によって異なりますが、
・発熱・頭痛・悪寒・筋肉痛
といった風邪のような症状
- ・下痢・腹痛などの症状
・毛髪脱毛・かゆみ・発疹 など皮膚に表れる病気
※無症状や軽症の場合もあります。

(事例)

Nさんのお家では、子猫を保護したこと、その家の人と猫が「皮膚糸状真菌」という同じやっかいな病気にかかってしまい、大変な思いをしました。Nさんは、自分の家族や猫を守るためにも、人にも動物にもうつる病気についてもっと知り、動物との関わり方に十分気をつけなければと思っています。(詳しくはWeb版にて掲載)

多頭崩壊

時々ニュースで見る「多頭崩壊」。
福岡県内でも毎年耳にします。
大事になる前に、ナニか手を打てなかったのか？
誰もが思う事でしょう。

子犬子猫が生まれるたびに、新しい飼い主を見つける。

これだけのことが、簡単にはいかないのが現実です。

増やさないために不妊手術をするには、お金がかかります。

1匹2匹なら費用負担出来ていたことでも、買い手が見つからなかった子犬子猫も生後6ヵ月頃には妊娠出来るようになり、5匹6匹と増えていくと、不妊手術費用が重くのしかかって来ます。

手術費用の工面が追いつかなくなれば、あっという間に増えていき、飼い主の生活が困窮していくことにも。

子犬子猫が生まれないように不妊手術をしても、多頭崩壊を起こすことがあります。

捨てられている犬や猫を、かわいそうだからと家に連れて帰ることで、飼育する犬猫の数が増え、お世話が行き届かなくなったり、飼い主の病気やケガなどで入院や施設への入居が必要になった時に、犬猫の行き場が無くなるということもあります。

多頭崩壊は犬猫はもちろん、飼い主も不幸にします。

不妊手術をして増やさないようにすることはもちろん、自分でお世話が出来る頭数以上に増やさないこと。それから「もしも」の時に、犬猫をお願いできる人や施設を探しておくことをお願いします。

自分でどう探せば良いのか分からない時は、お住まいの地域にある保健福祉環境事務所(保健所)へ相談すれば、動物愛護推進員やペット飼育支援アドバイザー等を紹介してくれます。ご活用ください。

多頭崩壊危険度チェック

- ☐ 2頭以上のペットがいる
- ☐ 不妊去勢手術をしていない
- ☐ 捨て犬・捨て猫を見つけると、放っておけない
- ☐ 保護した犬猫に新しい飼い主を見つけられない
- ☐ 犬猫にお金がかかって、貯金ができない
- ☐ 犬猫を預けられる相手や施設がない、頼れる人がいない
- ☐ 自分に持病がある
- ☐ 自分が高齢である
- ☐ 一人暮らし

2つ以上チェックがついたあなたも

「多頭崩壊予備軍」です

1つでもチェックが減るように、頑張りましょう!

ペットの災害対策

災害は突然起こります。

飼い主とペットがともに無事に災害を乗り越えるために、日ごろから備えておきましょう。

普段からやっておくことは？

- 飼い主が分かるようにしておきましょう。連絡先を書いた**迷子札**を装着しましょう。
マイクロチップの装着は、壊れたり外れたりしないので確実です。
犬は**鑑札**と**狂犬病予防注射済票**の装着が義務付けられています。
※お住まいの市町村によっては、マイクロチップが鑑札とみなされる場合があります。
- キャリーバックやケージに慣れさせましょう。
無駄吠えをしないように**しつけておく**と、避難所での生活で他の人への迷惑防止につながります。
- **狂犬病予防接種(犬の飼い主の義務)**、ワクチン接種、ノミダニ駆除をしておきましょう。
- 避難用品や備蓄品の準備をしておきましょう。
人間と同じように、フードや水はもちろん、療養食や薬は**7日以上**用意しておきましょう。

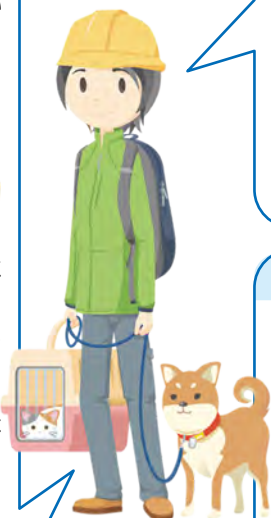


もっと詳しく知りたい方はこちら→→
日頃の準備チェックリストもあります



災害が起きたらどうしたらいいの？

- できる限り飼っているペットと一緒に安全な場所まで避難しましょう。これを**同行避難**といいます。
- **犬の場合**はリードをつけて、小型犬であればさらにキャリーバックやケージに入れます。
- **猫の場合**はキャリーバックやケージに入れ、扉が開かないようにガムテープなどで固定します。
- 避難所では、飼い主自身がお世話をしましょう。



同行避難所ってどこにあるの？

- 市町村のホームページや**福岡県防災アプリ「まもるくん」**で確認できます。避難所までの安全なルートを確認しておきましょう。
- ワクチン接種や、無駄吠えしないかなど、避難所によって受け入れ条件があります。今のうちから確認しておきましょう。

ペットと同行避難ができる
避難所を確認する→→



筑紫保健福祉環境事務所

住 所 大野城市大字白木原3丁目5-25 筑紫総合庁舎内
電話番号 092-513-5599
管轄区域 筑紫野市・春日市・大野城市・太宰府市・那珂川市

宗像・遠賀保健福祉環境事務所

住 所 宗像市東郷1丁目2-1 宗像総合庁舎内
電話番号 0940-47-0344
管轄区域 中間市・宗像市・福津市・遠賀郡

北筑後保健福祉環境事務所

住 所 朝倉市甘木2014-1 朝倉総合庁舎内
電話番号 0946-22-2741
管轄区域 小郡市・うきは市・朝倉市・朝倉郡・三井郡

公益財団法人 福岡県動物愛護センター

住 所 古賀市小竹131-2
電話番号 092-944-1281
管轄区域 <https://www.zaidan-fukuoka-douai.or.jp/>

粕屋保健福祉事務所

住 所 糟屋郡粕屋町大字戸原東1丁目7-26
電話番号 092-939-1744
管轄区域 古賀市・糟屋郡

嘉穂・鞍手保健福祉環境事務所

住 所 飯塚市新立岩8-1 飯塚総合庁舎内
電話番号 0948-21-4973
管轄区域 直方市・飯塚市・宮若市・嘉麻市・鞍手郡・嘉穂郡

南筑後保健福祉環境事務所

住 所 柳川市三橋町今古賀8-1 柳川総合庁舎内
電話番号 0944-72-2163
管轄区域 大牟田市・柳川市・八女市・筑後市・大川市・みやま市・三潴郡・八女郡

糸島保健福祉事務所

住 所 糸島市浦志2丁目3-1 糸島総合庁舎内
電話番号 092-322-3268
管轄区域 糸島市

田川保健福祉事務所

住 所 田川市大字伊田3292-2 田川総合庁舎内
電話番号 0947-42-9309
管轄区域 田川市・田川郡

京築保健福祉環境事務所

住 所 行橋市中央1丁目2-1 行橋総合庁舎内
電話番号 0930-23-2245
管轄区域 行橋市・豊前市・京都郡・築上郡

福岡県動物愛護センターでは、県の保健福祉環境事務所に収容された犬猫の新しい飼い主を探す事業の他、犬のしつけ教室や猫の飼い方講座等の動物の愛護及び管理に関する普及啓発事業を行っています。詳しくは、福岡県動物愛護センターのホームページで案内しておりますので、左記URLあるいはQRコードからご覧ください。また、フェイスブックやインスタグラムでも、情報発信しているので、フォローをお願いします。



福岡県動物愛護推進員について

動物愛護管理法に基づいて福岡県知事から委嘱を受けたボランティアです。
県内の各地域で、動物の愛護と管理、特に犬や猫の適正飼養や不要な繁殖の防止(不妊去勢処置)などの普及啓発について、様々な活動を展開をしています。
福岡県では、動物愛護推進協議会を組織して推進員の活動を支援しています。



福岡県獣医師会 事務局長より

昨年(令和6年)7月に、「譲渡可能な犬・猫の致死処分ゼロを達成!」との大変、喜ばしいニュースが福岡県から発表されました。過去、福岡県は致死処分頭数が全国でワースト1になることがあり、これを契機に、県や保健所、動物愛護センターなどの行政や動物愛護団体等の関係団体が連携、協力し、致死処分ゼロを目指しての取組が進められているところです。福岡県獣医師会も、当会の中に「いのちをつなぐ委員会」を設置し、「あすなろ猫事業」として、動物病院での野良猫の不妊去勢手術の取組や福岡県が進める地域猫事業に協力し、不妊去勢手術に取り組んでまいりました。このような行政や様々な団体の取り組みが実を結び、今回、譲渡可能な犬・猫の致死処分ゼロという結果につながったものと思います。誠に喜ばしい成果だと思っています。福岡県は、今後も引き続き、譲渡可能な犬・猫の致死処分ゼロを維持していくとともに、譲渡できない犬・猫を含めた致死処分数を減らしていくよう努めるとされています。人と動物が共生できる社会は、もう、直ぐ近くにあるのかもしれませんが、この社会の実現を目指して、犬・猫の飼い主を含めた、すべての関係者が今後も取組みを継続し、進めていく必要があると思います。

編集後記

メンバーが今いちばん届けたい情報を持ち寄り、編集会議で話し合い…今号も出来上がりしました!

初参加の私にとって記念すべき23号。一人でも多くの人に手に取っていただき、人と動物のより良い関係について知っていただけたらと思います。

筑紫支部 藤崎直美